

# えびの

# 市議会 だより

第136号

令和5年4月20日

Ebino City Assembly Report 2023/4/20 Vol.136

## ご入学 おめでとうございます!



飯野小学校



飯野中学校



上江小中学校



加久藤中学校



加久藤小学校



岡元小学校



真幸中学校



真幸小学校

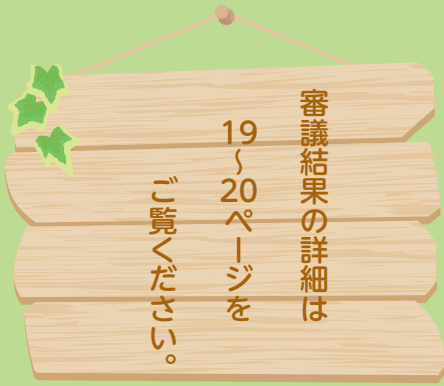


6月定例会は  
**5月31日(水)**  
開会予定

# 3月

## 定例会概要

令和5年3月定例会は、2月27日から3月17日までの19日間開催し、報告1件、議案34件、陳情1件、委員会提出議案1件について審議しました。



### ◇ 計画策定に関する議案 ◇

#### 【議案第5号】

**第二次えびの市環境基本計画の見直しについて**

本市を取り巻く環境や社会情勢の変化などを踏まえ、中間見直しを行うものです。

#### 【議案第6号】

**えびの市地域新エネルギービジョンの見直しについて**

国のエネルギー政策や宮崎県再生可能エネルギー等導入推進計画との整合性を図るため、名称を改めるとともに内容の見直しを行うものです。  
(※詳しくは6ページをご覧ください)



### ◇ 条例制定・改正に関する議案 ◇

#### 【議案第9号】

**えびの市原油・原材料高対策特別貸付利子補給基金条例の制定について**

原油価格・物価高騰により影響を受けた中小企業に係る融資のうち、本市が行う利子補給に関する事業に要する経費の財源に充てるため、条例を制定するものです。

#### 【議案第15号】

**えびの市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について**

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行により、安全計画の策定や自動車を運行する場合の所在確認に関する規定の追加等の改正が行われることから、条例の一部を改正するものです。



#### 【議案第16号】

**えびの市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について**

ごみステーションの設置申請者を自治会に限定していたものを、ごみステーションの設置に必要な要件を満たした集合住宅の管理者等からの申請を可能とするため、条例の一部を改正するものです。  
(※詳しくは7ページをご覧ください)

#### 【議案第17号】

**えびの市国民保険条例の一部改正について**

健康保険法施行令の一部が改正され、出産育児一時金の支給額が40万8千円から48万8千円に改められることから、条例の一部を改正するものです。



【議案第21号】

令和4年度えびの市一般会計予算の補正について  
 歳入歳出それぞれ6億3,533万5千円を減額し、  
 補正後の予算総額は149億5,930万2千円とな  
 ります。

【民生費】

- ・放課後児童クラブ運営事業費

▲1,349万5千円

【衛生費】

- ・風しん対策事業費

▲506万3千円

【農林水産業費】

- ・地籍調査事業費

4,092万8千円

【商工費】

- ・みやざき再生支援特別貸付利子補給基金積立金

5,869万5千円

(※詳しくは9ページをご覧ください)

【議案第27号】

令和5年度えびの市一般会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ141億  
 2,200万円で、対前年度比6,464万9千円の  
 増となりました。歳入の財源割合は、自主財源が38・  
 1%、依存財源が61・9%となっています。

主な事業は下記のとおりです。

(※詳しくは9～11ページをご覧ください)



◇令和5年度の主な事業◇

【総務費】

- ・業務量調査BPR支援委託料 599万5千円

- ・地域商社設立アドバイザー報償金 132万円

【民生費】

- ・重層的支援体制整備移行準備事業委託料

696万9千円

【衛生費】

- ・美化センター改修に向けての長寿命化計画等  
作成委託料

1,112万8千円

【農林水産業費】

- ・農業経営収入保険支援事業補助金

353万9千円

- ・えびの産和牛肥育素牛導入推進対策事業補助金

1,200万円

【商工費】

- ・えびのブランド販路開拓等支援補助金

100万円

【土木費】

- ・市営住宅改修に向けての設計委託料

209万2千円

【教育費】

- ・学校給食費緊急支援事業補助金

353万2千円



人事案件

・副市長

甲斐正文氏

・公平委員会

徳重順子氏

・農業委員会

稲田優氏

委員

岩屋美智子氏

委員

栗下章二氏

委員

新原正次氏

委員

竹下助範氏

委員

田中雄策氏

委員

田上みゆき氏

委員

前原幸太郎氏

委員

森永良仁氏

委員

山下正成氏

・教育委員会

委員

森高尚子氏



# 令和5年3月定例会 総務教育 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託された議案9件の審査を行いました。

審査の結果、議案第8号は反対討論があり、挙手による採決の結果、原案のとおり可決。他8議案は全会一致で原案のとおり決まりました。  
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

## ①議案第8号 えびの市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について

**Q** えびの市情報公開条例では、だったが30日以内に変更されている。全国どの自治体でも30日以内と変更されるのか。

**A** 現行条例に合わせる形で策定する自治体もあれば、今回の法の内容に併せて30日と規定する自治体もある。開示決定の期

限は、えびの市の現行では15日以内・延長期限は60日を限度としているが、今回の法定期限は30日以内・延長可能が30日以内で合計60日となっている。法に合わせた改正だが、これまで15日以内で運用していた部分については、今後要領等で設定し、基本的には15日以内に事務処理はしたい。

## ②議案第19号 えびの市定住促進住宅条例の一部改正について

令和5年4月から空き住戸を活用して運用を開始する飯野高等学校男子生徒寮と、令和5年度においてトイレ・浴室の改修を計画している一般入居者向けの住戸については、設備が充実することにより住環境が改善されるため、改修を行わない住戸との家賃の差別化を図るものです。

**Q** 今回、定住促進住宅については、建物や設備の経年劣化と一般の物価高騰の影響を鑑みて、現行家賃の引き下げを行うとのことだが、どういうことか。

**A** 新型コロナウイルスやウクライナ関係での物価高騰により、生

活に関する支出が多くなっていることでの家計圧迫を鑑みて、負担軽減を図るために、今回家賃の引き下げを行う。定住促進住宅条例には、物価の変動に伴い家賃を変更する必要があると認められた時は家賃の変更ができることになっているため、今後、仮に物価等の関係で家賃を引き下げることがあれば慎重に見極めなければならないと考えている。

## ③議案第32号 令和5年度えびの市水道事業会計予算について

**Q** 給水区域未普及地について、調査や対策は講じているのか。

**A** 《えびの市配水管未布設区域に関する要綱》では、未普及地の区域では既設配水管の分岐点から50メートルまでの配水管を補助する制度がある。そのような制度を使いながら未普及地の解消に努めている。

**Q** 令和5年度のキャッシュフローでは3,941万2千

円の赤字見込みで、累積赤字が2億3,000万円となる予定である。経営戦略策定委員会ではどのような検討が行われているのか。

**A** 現在策定済みの経営戦略は令和5年度から後期にあたるため、本来であれば3月定例会に提案すべきだったが、新型コロナウイルスや昨今の物価高騰の影響などによってスケジュールが少し遅れている。後期の経営戦略策定過程において、収支改善に向けた経営分析を実施し、経営戦略策定検討委員会の意見を踏まえて、できるだけ早い時期に後期の経営戦略を提案したいと考えている。また水道料金は、後期の経営戦略が可決された後、水道料金等審議会に移行して、その審議会の中で検討していただく。

## ④議案第33号 令和5年度えびの市病院事業会計予算について

**Q** 病院施設の改良やICT導入等、多額の予算をかけるが、純利益等の見込みは。

**A** これまで院内の職員の業務効率が悪いと意見等があり、

新型コロナ禍前に電子カルテの導入について市長部局にも話していたが、新型コロナの影響で先送りになった。今回、多額の経費を伴う導入ではあるが、電子カルテを導入することで、例えば人件費・消耗品費・委託料や賃貸借料に計上している器械備品の経費節減が見込まれ、軌道に乗ったら削減効果も出ると考えている。しかし、経費の節減効果は早急に効果が出るものではないため、初年度については大変厳しいと考えている。

**Q** えびの市立病院への信頼度を高めるためにも、経営強化プランはしっかりと作り上げていただきたい。

**A** 経営強化プランは、今後2市1町の3つの公立病院の話し合いに入る。その内容は、西諸医療圏にある公立病院の機能の分化・役割を明確にすることでである。救急については、本来すべての救急患者を当院で受け入れることが一番よいが、医師や職員の数、夜間待機している看護師の数により、全ての救急患者を受入れるこ

とができない状態となっている。このことは、市民の理解もいただく必要があるので、広報誌等で状況を説明させていただく。経営強化プランでは、持続可能な地域医療体制を維持するための経営強化に着眼し、その機能や役割分担をしっかりと示していく。それぞれの機能分化や連携して、市民に安心な医療提供体制を整えていきたい。

**Q** 今回のタイミングで電子カルテを導入する必要性は。

**A** 電子カルテ導入については、以前から要望等が出されている。院内に「電子カルテ導入による患者サービスの向上、職員の負担軽減等に関する検討委員会」も立ち上げていた。電子カルテは導入したらずく使えるものではなく、既に電子カルテを導入している病院では最低3年〜5年は紙カルテと併用する形を取られていた。国は2030年を目指して医療DXを進めるので、今のタイミングで導入することで電子カルテを使いこなせる状況になっていると考えている。電子カルテに伴う業務

効率の効果は、主に紙カルテの不便さが解消されることである。患者さんに対して、各種検査やリハビリ、薬局等全てにカルテの情報が必要で、えびの市立病院がかかりつけ医で何年も通院されていると、カルテがどんどん増えて厚くなるため、カルテの分冊が必要になる。その保管場所等も窮屈な状況である。更に、紙カルテは全て手書きのため、患者さんを見ながらカルテの情報整理をしなければならず、かなり負担もある。紙カルテ1冊で全てが動くので、結果、患者さんの院内滞在時間が大変長くなっている。電子カルテになれば、全ての部署で患者情報をリアルタイムで確認できることになる。薬剤処方も、医師がカルテを作成し上げた段階で薬局に情報が届くので、かなりスムーズな診療体制が構築される。

**Q** 電子カルテを令和5年度に構築した場合の完成予定時期は。

**A** すぐにプロポーザル等の準備に入るが、現在、ウクラ

イナ情勢等の影響で機材等の物品調達に難しい状況にある。予定では、令和5年度中に電子カルテの設置・インフラ整備・職員の機器操作習得までを終了させ、令和6年4月稼働を目指して諸準備を進める。

**Q** えびの市立病院でのサイバーテロに対するセキュリティ対策は。

**A** 電子カルテを扱う5業者程を見たが、どの業者も国からの指導があり、ネットのセキュリティ対策はかなり強いタイプのものを使用されていた。対策としては、外部とのネットを限定的にして、業者とのリモートのやり取りのみとする。仮にインターネットを利用する場合は別回線を使うようにして、電子カルテの中でネットを活用する場合でも閲覧のみと考えている。国からの通知でセキュリティ対策は万全にしなければいけないとあるので、事務職員で担当を設ける予定である。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

# 令和4年12月定例会 産業厚生 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託された議案18件、陳情1件について審査を行いました。

審査の結果、議案18件について討論はなく、全会一致で原案のとおり決まりました。陳情第4号は、継続審査となりました。  
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

## ①議案第5号 第二次えびの市環境基本計画の見直しについて

環境保全に関する総合的な計画で、期間は平成30年度から令和9年度までの10年間で、令和4年度は中間年度に当たることから、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化などを踏まえ、中間見直しを行うものです。

**Q** 畜産施設からの悪臭の苦情は減少しているとあるが、市民から今でも悪臭に対する苦情の声を聞く。本当に苦情は減少しているのか。

**A** 市内の畜産施設の減少もあり、市民環境課に寄せられる苦情については減少している。

**Q** 堆肥の利用による資源循環型農業の確立とあるが、堆肥の利用促進は図られているか。

**A** 耕種農家と畜産農家が連携して行う事業により運用され利用促進は図られているが、今後は小規模の畜産農家が減少し、規模の大きい畜産経営が主になれば堆肥が余ってくることも考えられるので、対応には連携して当てる。

## ②議案第6号 えびの市地域新エネルギービジョンの見直しについて

えびの市を取り巻く社会情勢の変化に対応しつつ、豊かな自然環境と調和した再生可能エネルギー導入の基本方針を示すものであり、

「第二次えびの市環境基本計画」の中間見直しに併せ、本ビジョンについて名称を含めた見直しと、国のエネルギー政策や宮崎県再生可能エネルギー等導入計画との整合性を図り、部分的な見直しを行うものです。

**Q** 風力発電は進めていく方向で考えているのか。

**A** 風力発電については現在、西内堅等の上方で、グリーンパワーインベストメントという会社が開発に向けた環境アセスメント調査を行っていて、環境アセスメントの中間状況である。

次に準備書の作成となるがその時に、市民等から意見を聞く公聴会といったものを開かれる予定となっている。事業者に現在の環境アセスメントの準備書の進捗状況について確認したところ、当初、今年の春頃に準備書を公開する予定だったが、日程が遅れており、秋から冬にかけて中間の準備書ができるのではないかと。計画自体は進んでいる状況であるとの説明があった。

**Q** 風力発電について、市民団体などから反対の声があるか。

**A** 現在、市民環境課に寄せられている直接的な反対意見はない。

## ③議案第13号 えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

今回の改正内容は、まず、安全計画の策定等について、施設の安全点検や安全管理に関するマニュアルの策定、訓練や研修等を記載した計画の策定は、幼稚園や認定子ども園では国の法令等により、すでに策定が義務化されていたが、家庭的保育事業所などでは、策定が明確にされていなかったため、幼稚園等と同様に策定の義務を明確にするためのもの。

次に、自動車を運行する場合の所在の確認について、令和4年9月に静岡県牧之原市で発生した、送迎バスに取り残された子供が死亡した事件を受け、バス送迎における園児の所在確認、バスへの安

全装置の設置義務化が行われることになったもの。

最後に、懲戒権の削除で、これまで民法において、親権を行うものは、看護及び教育に必要な範囲内でその子を懲戒することができると、親権者の懲戒権というものを定めていたが、この懲戒権が、児童虐待を正当化する口実になっていると指摘されていたことから民法から削除される改正が行われるものです。

**Q** 市内にこの条例に該当する施設は現在ないが、設置をしたいという要望はあったか。

**A** 家庭的保育事業についての話はない。

#### ④ 議案第16号 えびの市廃棄遺物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

ゴミステーションの設置申請者を自治会長に限定しているものを、ゴミステーションの設置に必要な要件を満たした集合住宅の管理者などからの申請を可能とするため、えびの市の廃棄物処理及び清掃に

関する条例の一部を改正するものです。

**Q** 今回条例を改正することになった経緯は。

**A** 令和4年度中に自治会連合会の自治会統廃合ゴミ検討委員会というのを7回開催しているが、不法投棄やゴミの分別の問題について議論を重ねる中で、えびの市の条例について改めて精査していたところ、条文の表現に問題があることに気付き、廃棄物の処理及び清掃に関する法律との整合性について問題がないか市の顧問弁護士に相談したところ、このままでは、問題が生じる可能性があるとの説明を受け改正に至った。

#### ⑤ 議案題30号 令和5年度えびの市介護保険特別会計予算について

**Q** 本市の要介護認定者数の動向は。

**A** 第1号被保険者認定者数の動向は、昨年12月31日現在、認定者数が1,575名で認定率19.92%となっている。介護保険事業計画では、これから先、認定

率は若干上がっていくものと推計している。ただし、高齢者の人数については減少し、生産年齢人口も同時に低下していくので、高齢化率は高く、また後期高齢者率についても、団塊の世代が75歳を迎えるので、介護保険サービス利用者が増えたと見込んでいる。



#### ⑥ 陳情第4号 市の観光地として毘沙門の滝の復興を求める陳情書について

本陳情書は、令和4年11月7日に市議会に提出され、同年12月定例会において常任委員会に付託され、これまで5回審査を行いました。

1回目は12月定例会中の委員会

において、観光商工課及び建設課に、毘沙門の滝の最初の展望所が平成元年度に設置されてから、令和3年度の撤去に至るまでの経緯と、現状及び市の観光地としての考え方について説明を受けました。説明の中では、毘沙門の滝の整備は、観光振興計画に沿った事業ではないので、予定はないという事でした。

2回目は、令和5年1月17日の閉会中審査において、参考人として、陳情書代表の自治会長、及び、地元自治会長、他一自治会長にお越しいただき、陳情書の趣旨や、提出された経緯等を説明いただきました。それから毘沙門の滝の遊歩道や駐車場等の現地調査を行いました。

説明の中では、めがね橋会の6自治会長と自治会の東部の会長の7名で協議して、毘沙門の滝は有用な観光地であって、整備が必要なので陳情書を提出したこと、まだ地元である下大河平自治会住民に説明はしておらず、3月の総会で説明をする予定であるということ、そして、整備後の維持管理

については地元負担がないようにしてほしいという内容でした。

3回目は、2月1日に行い、これまで調査した内容について委員間協議を行いました。委員からの意見により、陳情の主旨をきちんと把握するため、陳情書に署名されている他の陳情者の意見を聞くことに決まりました。

4回目は、2月15日に行い、陳情書の署名者の4名の自治会長にお越しいただき、陳情の主旨や提出に至る経緯、整備後の維持管理等の考えについて説明を受けました。

陳情者からの意見は、毘沙門の滝は素晴らしい観光地であり、市が整備し、整備した後も維持管理を市が行うということを求めていること、清掃などの環境整備については、高齢化などで地元負担を求めることは難しいので、市がなるべく行うことと、下大河平自治会以外の自治会もできることは協力していくという内容でした。

5回目は、3月定例会中の委員会審査において、再度、観光商工課に、市の観光地としての考えを

伺いました。

担当課の説明では、12月定例会の時の説明から変更となり、市としては、観光振興計画に盛り込むことは不明だが、毘沙門の滝が見えるようなちよつとした展望台のような整備をすることはできないかと考えており、地元の方々との協議を重ね、維持管理などの協力をもらえるのであれば、令和5年度中に計画をする考えがあるという内容でした。

委員会協議において、当初市側の説明では、観光地として整備する計画はないとの考えから一転し、展望所については整備する考えがあるとの答弁に変わった。市が前向きに整備する考えがあるのであれば、採択してもよいとの意見と、まだ地元住民への説明がなされていないので、下大河平自治会総会を待って、地元の方々の意見等を踏まえて判断をしたいという意見があり、採決の結果、継続審査することになりました。

産業厚生常任委員会

委員長 吉留 優二

## 令和4年度 予算審査 特別委員会 報告

3月定例会において当委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。審査の結果、討論はなく、全会一致で原案のとおり決まりました。以下、議案の審査内容について報告致します。

減額した。

扶助費

△1億2,142万7千円

**Q** 全国の生活扶助費は増加している中で、えびの市は何故減額なのか。

**A** 一番大きな要因としては、受給者が昨年度に比べて減ったことであり、生活保護廃止の方が他の制度を活用したり、年金受給による収入増や転出した方もいるためである。

〔衛生費〕

浄化槽設置整備費

△1,434万7千円

**Q** 100件の見込件数に対し73件だが、その要因は。

**A** 当初予算では宅内配管工事の費用10万円の補助を5万円引き上げて15万円とし、汲み取り浄化槽についても補助を行うことにしたが、それでも個人負担額が多く、併せて新型コロナウイルスの関連で浄化槽設置事業者が、営業活動ができなかったことも大きな要因である。

福祉タクシー料金給付費

△521万9千円

**Q** 利用見込みの減の要因は。

**A** 対象者を当初550人見込んでいたが、新型コロナウイルスの影響で、

令和4年7月～8月と、令和5年1月に利用枚数が少なかったため



【農林水産業費】  
森林・林業活性化事業費

△788万8千円

**Q** 地域おこし協力隊2名分の予算計上が全額減額である。募集の仕方の見直し等が必要ではないか。

**A** 地域おこし協力隊は、庁内でも取り組む課が複数あるので、意見交換を行う。また、林業で成功している先進自治体とも意見交換をしていきたい。

【土木費】

川内川水系樋門樋管等管理委託料  
152万3千円

**Q** 増額となった活動実績は。  
**A** 7月豪雨と8月の台風時の水門操作分を増額した。

令和4年度予算審査特別委員会  
委員長 中山 義彦

令和5年度  
予算審査  
特別委員会  
報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。審査の結果、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり決まりました。以下、議案の審査内容について報告します。

①議案第27号 令和5年度えびの市一般会計予算について

【商工費】

起業者誘致育成支援事業補助金  
1,046万2千円

**Q** えびの市起業支援センター関連の予算について、300万円減額となった事業の変更内容は。

**A** インキュベーションマネージャーの報酬賃金の見直しを行い、243日の勤務日数予定を変更して168日で考え

ており、平均して週3日の勤務を予定している。

**Q** 毎年効果が出ているか。

**A** 平成29年度からスタートし、当初は起業者を誘致して、市内で起業してもらうことを目的として事業開始したが、市内の工商业者の問題を解決して経営の改善等に寄与している。

**Q** 使用料で人件費を賄うという前提で考えれば、使用料は人件費等に対する割合が非常に少なく、そんなに効果が出ているとは思えない。今回は減額したが、もう少し内容を精査して、月1回か2回ぐらいの相談窓口を設定した方がいいのではないか。

**A** 使用料と人件費を照らし合わせながら運営しないと、多額の費用をつぎ込んで起業者もすぐに効果はないと思うが。

**A** 市起業支援センターの収入が見込めない状況で収支バランスが取れていない。やはり事業収

支のバランスや収入の確保が大きな課題なので、事業の圧縮についてもさらに検討していく。

**Q** 重点事項なのに、何故、予算を300万円減額するのか。

**A** 事業費を圧縮した経緯は、収入が伴わないという課題が要因である。なお、事業承継については、市の事業者の高齢化の進展や空き店舗等も増えてきていることから、取り組みはさらに強化していく。

アウトドアシティ推進事業費

3,393万7千円  
**Q** モンベルフレンドエリア登録者数は昨年の80万人から今年は100万人以上と増えている。情報共有や連携をしながら政策等に繋げていくのか。

**A** 効果的な情報発信に努めていく。

**Q** 全ての観光施設がAEDの年1回の研修を受けていることを確認しているか。

**A** 毎年確認している。

### 【教育費】

#### 郷土芸能保存連合会補助金

73万円

**Q** 将来、郷土芸能がなくな  
るのではないかとこのこ  
とも十分考えて、予算措置すべき  
だと思うが。

**A** 十分そういった認識は  
持っている。今後も継続  
できるような形で取り組んでいく。

### 体育施設管理事業費

6,296万9千円

**Q** 永山運動公園はいつから  
使えるようになるのか。

**A** 拡張工事を行っている  
車場内にあるトイレは、令和5年  
4月1日から供用開始になる。グ  
ラウンドは、芝の養生の期間中で  
あるので、大体6月ぐらいには供  
用開始できる予定である。

### 【総務費】

#### 地域商社設立アドバイザー報償金

132万円

**Q** 地域商社設立アドバイ  
ザーは、どのような方を  
考えているのか。

**A** 地域商社は株式会社を想  
定しており、公的などこ  
ろもあるため地域商社に特化した  
アドバイスを受けようと考えてい  
る。特定の方を想定したものでは  
なく公募により決定したいと考え  
ている。

**Q** アドバイザーの勤務日数  
と時間帯は。

**A** 月1回の頻度でえびの市  
を訪問してもらい、あと  
は電話、リモート、オンライン等  
でアドバイスを不定期で受ける。  
設立初期に関しては、地域商社と  
してのビジョン・定款・事業計画  
書・機関設計・取締役の構成など、  
特化したアドバイスを受けたいと  
考えている。

### 地域おこし協力隊事業費

2,352万5千円

**Q** プロジェクトマネー  
ジャーの役割は。

**A** 地域商社の中心的な存在  
として事業等を統括する  
ゼネラルマネージャー（業務部長  
的な役割）を想定している。

**Q** 地域おこし隊員にはどう  
いうことを期待している  
か。

**A** 返礼品の受発注や開発に  
も取り組んでもらう考え  
である。

**Q** プロジェクトマネー  
ジャーの今年6月からの  
来年3月までの費用はいくらか。

**A** 561万4千円になる。

**Q** 株式会社の代表者は誰か。

**A** 出資はえびの市が過半  
以上はすると考えており、  
社長は市長ではなく、経営に優れ  
た経験のある方を招へいすること  
が一番望ましいと現時点では考え  
ている。

**Q** この事業を進めて将来的  
に黒字化できる考えか。

**A** まずは事業の安定性と収  
益性を確保するというこ  
とに着目し、早いうちに黒字化を  
目指す。

### 【消防費】

#### 浸水検知センサ購入費

163万7千円

**Q** 浸水検知センサ6基は、  
既に設置する場所等は決  
まっているのか。

**A** 設置予定箇所は、飯野小  
の通学路、また飯野麓地区および  
加久藤麓地区、京町地区などの浸  
水が起りやすい場所を考えてい  
る。

### 【公債費】

償還金  
1,425万7千円

**Q** 利息は今年度以降、将来  
的に変動があるのか。

**A** これまで借り入れた過去  
の金利よりも最近の金利  
の方が低くなっているので、当面

の間は利息は減っていくという見通しを立てている。

### 【衛生費】

#### 育児等健康支援事業費

154万円

**Q** 子どもノート（育児書）をどのような形で活用するのか。

**A** 検診時や乳児全戸訪問時に確認して、何か不安等があれば、その中で相談支援等を行っていく。

#### 塵芥処理費

8,206万7千円

**Q** 監視カメラ購入費について、どのような事業なのか。

**A** 市で購入し、希望する自治体に貸し出しをして、ゴミの分別や不法投棄の監視に使うもので、台数は3台を考えている。

**Q** 今定例会に提案されているゴミ収集に関する一部条例の改正案では、自治会以外で

のゴミの回収が始まるが、条例改正案が出ていることを承知して予算組みをしたのか。

**A** 条例改正案に基づくゴミ収集のステーション件数が大幅に増えるとは想定していない。これまで基準が曖昧であったものを明確化し、自治会のみがゴミステーションの設置の申請を行うことができたのを、アパートの経営管理者等も設置をすることができる内容に改正をするものである。

**Q** 今後、委託の契約改正はあるのか。

**A** 現状のゴミ収集の積算においての計算根拠の中には、ゴミステーション数は入っていない。

**Q** ゴミ回収業者に負担のないよう事業に努めてほしい。

**A** 大切な視点であると思うので、今後取り組んでいく。

### 【民生費】

#### 老人福祉センター温泉配管洗浄委託料

7万1千円

**Q** レジオネラ菌の対策について、この予算額で十分か。

**A** 業者が保健所等の指示を受けて、配管の洗浄・消毒を年に1回実施すれば大丈夫とのことである。安全面を考えた上での予算計上である。

### 【農林水産業費】

#### 地域計画策定推進事業費

314万円

**Q** 県も、えびの市の地域について理解を持って、地域と行政と一体となって進めていくべきだと思う。担当課は農業委員会と、どのように連携して進めていくのか。

**A** 地域に協議の場を設置して、農家や関係者による協議を進め、その結果を踏まえて、市で具体的な地域計画案を作成する。今回の地域計画では、農業委員会が中心となって農地の出し

手・受け手の意向を踏まえて、農地一筆ごとの受け手の将来像を明確化した目標地図を作成することになっており、その目標地図を含めて作成された地域計画案を、関係者等から意見を聴取した後、報告する流れとなる。まずは、市役所内部で合意形成を図る。

### 【反対討論（原案に反対）】

地域商社設立アドバイザー報酬金および地域おこし協力隊事業費の予算委員会審査の中で、各委員の質疑に対する答弁も聞き、この地域商社の設立は時期尚早であると思う。また、担当課からは、地域商社が販売する産品、品目の回答も得られず、株式会社の設立に関しても、その資本金、役員構成や事業の展開においても不明確な点が多々あった。さらに、地域おこし協力隊の採用は補助金を利用したものであり、あまりにもわずかな計画であると認識している。

令和5年度予算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

堂本用水路令和5年度から



栗下 政雄  
議員



**質問** 堂本用水路問題について、小田堂川の改修計画を示せ。

**市長** 令和5年度の予算で計上している。

**質問** 水田二毛作問題について、担当課職員を佐賀県や久留米地方で研修させる考えはないか。

**市長** 二毛作問題については、農業改良普及センターやJA等の指導を受けたいと思っている。

**質問** 農福連携問題について、農水省は宮崎県の取り組みを評価していないと聞かすが、えびの市の農福連携の取り組みについて伺う。

**市長** えびの市福祉作業所や市内の農業法人等は、この事業の導入は考えていない。

**質問** 行政区問題について、えびの市の行政区は合併50年を過ぎ

ても64自治会、市議会議員は定数14名（現12名）、市長は自治会のあり方をどのように考えているのか。

**市長** 自治会の統廃合については考えていないところである。今後も考えていない。



堂本用水路

地域商社設立!!



川野 亮  
議員



**質問** 地域商社とはそもそもどういったものか。

**市長** 官民や地域の多くの関係者を巻き込み、農産物や工芸品などの地域資源や商品をブランド化し、生産加工から販売まで一貫してプロデュースし地域内外に販売する組織。収益を生産者に還元すると共に地域への投資を集め、地域の稼ぐ力を強化し、停滞している地域を活性化することであり、地域内の経済循環を主たる目的としている。

**質問** えびの市で考えている地域商社は主にどういった業務を行っているのか。

**市長** まずは、ふるさと納税事業において中間的な事務処理委託を任せたいと考えている。

**質問** ふるさと納税事業の他に取り組むものがあるか。

**企画課長** ふるさと納税事業のマーケティングで得た知見をふるさと納税事業以外のインターネット販売に拡張することや、えびの市の観光PRや誘客は勿論、最終的に寄附額向上につなげたい。起業、事業承継や移住定住促進も手掛けていく必要があると考えている。



奥霧島地域商社ツナガルたかはる(株)

えびのを元気に！えびのの将来像



森 賢治  
議員



**質問** 私の公約「えびのを元気に！」を実現するため日本一のくわい産地を目指し、現在徐々に栽培農家が増えてきた。えびのの将来像を伺う。

**市長** 第6次総合計画に示した「えがおが交わり続けるまち」がえびのの将来像である。

**質問** 人口減に伴い、えがおが交わり続けることが困難であると思われる。人口減と財政との相関性があるのか。

**市長** 相関性がある。

**質問** 今後、市庁舎の建替えは。

**市長** まだ、時期、規模、場所は決まっていないが、他の自治体を参考にすると50億円程度である。

**質問** 美化センターを含むゴミ処理施設等の建替え費用は。

**市民環境課長** 美化センター等の建替え費用は約62億円。交付金等を利用すると本市の負担額は約10数億から20数億円程度だ。

**質問** 今後15年先に人口は1万人を下回り、財政規模が縮小する中で75億円が必要となる。このままでは、えがおが交わり続けるまちは難しい。

**市長** 後年度に財政的負担がいかないような財政運営をする。



建替えるとしたら約50億円必要な市庁舎

VLFの移転と跡地の利活用は



西原 義文  
議員



**質問** 昨年9月7日の全員協議会で、VLFの移転計画の説明があったが、その後の情報は入っていないか。

**基地・防災対策課長** 防衛省からは、令和5年度から令和7年度まで基本設計及び測量設計を行い、令和7年度をめどにどの場所に移転すべきか決定する予定との説明を受けた。また、令和5年度予算案において新たな通信設備の整備に必要となる通信設備の基本設計及び敷地を検討するため、測量調査等にかかる経費として、約6億円を計上していくとの報告を受けている。

**質問** 移転後の跡地について市長の考えは。

**市長** 移転後の跡地また次の候

補地の決定は今からとなるが、移転となれば、現在利用している土地は国が管理するのか市は伺っていないが、跡地の利用については、防衛省からも話はない。えびの市としての利活用等も含めてまだ検討はしていない。



移転予定のVLF送信所

誰もが安心して暮らせるまちに



小宮 寧子  
議員



な支援を検討していきたい。

**質問** 中学生など学生が教える

スマホ教室を開催する考えは。

**企画課長** 飯野高校生などの協

力を中心に模索し考えていく。

**質問** プレコンセプション(妊

娠前)ケアへの本市の取り組みは。

**こども課長** 県が性と健康の相

談センター事業を活用し相談・受

付を行っている。本市も県と連動

し窓口の周知や啓発を行っていく。

**質問** 近年痛ましい事件や事故が増えており犯罪被害者等支援条例制定の動きがある。市の考えは。

**総務課長** 総務課内では一定の検討を終えて、素案は基本的なものまでできており準備を進めている。

**質問** コロナ禍において本市の女性の就労状況は。

**観光商工課長** 令和4年度の企業実態調査で回答があった49社の状況は、非正規社員総数635人の内女性は445人で、特に40～64歳までの女性の非正規の割合が高く60・9%を占めている。

**質問** 女性のデジタルスキルの向上と就労支援への市の考えは。

**市長** 国が女性デジタル人材育成プランを進めている。本市も女性の社会進出・就労に向けて必要



みやざき被害者支援センター

飯野地区整備に力を入る



吉留 優二  
議員



**市長** 川内川上流河川改修期成同盟会を通じて平成30年度から毎年度要望を行っている。昨年は九州地方整備局、本年1月26日に早期改築に向けて国土交通省に対して要望を行った。今後は令和5年度から実施に向けた用地取得調査等が始まり、2月20日には地元説明会が開催されている。今後も早期改築に向けて国に要望をしていく。

**質問** 八幡丘公園の整備はグレードアップする整備事業費が必要と考えるが市長の見解を伺う。

**市長** 総額約6千万円の財源を使い、今後地域住民の意見を聞き整備を進めていく。

**質問** 八幡岡添線の大雨水対策として側溝や道路の整備を伝えていたが、その後の整備状況を伺う。

**建設課長** 令和4年度9月に側溝の改修及び道路勾配改良工事を実施し被害の軽減を図った。

**質問** 近年の自然災害を考えると飯野の下方井堰整備は、飯野麓地区・町区をはじめ、その周辺一帯の市民の災害にかかわる重要な案件で、災害を未然に防ぐため早急に下方井堰の整備をすることが望まれるが、市長の見解を伺う。



八幡丘公園夜桜

# 一 般 質 問

## 市長、早急な産業団地完売を！



中山 義彦 議員



**質問** 産業団地の企業誘致で、現在発表できる企業はあるか。

**市長** 発表できる企業はない。

**質問** パンフレットを県選出の国會議員事務所においているか。

**企業立地課長** 国會議員事務所にはパンフレットは置いていない。

**質問** 市長は今任期中に産業団地を埋めるということと、政治生命をかけると発言している。その決意は今も変わらないか。

**市長** その覚悟で、企業誘致が最優先課題と市民にも示して選挙公約の中に掲げているので、責任を取っていく。

**質問** 農業政策で、裏作を所得向上のために取り入れるべきではないか。

**市長** ほ場整備がだいぶ進んで



企業立地が待たれる産業団地

おり、助成制度の活用を促してサポートをやっていく。

**質問** 若い世代から子供を遊ばせる場所がないとの意見があるが。

**市長** 地域の人が便利に思う部分は、外から見た人も魅力がある地区と思うので、地域全体として整備していく。

**質問** 茶屋平の老朽化したホテルに関する対応は。

**市長** 国の方にも整理をお願いしていきたい。

## 出産サポート119の周知を！



阿部 哲己 議員



**質問** 出産を控えた方が事前登録しておくことにより、陣痛などの異変時に、かかりつけ医等に救急車が搬送してくれる制度が令和3年12月から始まっている。1年経過しているので登録状況を伺う。

**こども課長** 制度開始から今年2月までに出産された方が84名、登録の割合は約半分である。

**質問** 健康な妊婦でも出産に不安を感じられると考えると、登録の割合が少ないと思う。里帰り出産される方も制度を利用できるので、家族を含めしっかりと周知してほしい。

**こども課長** 母子健康手帳の交付時や広報誌、ホームページでも説明。かかりつけ医等の医療機関でも説明してもらい周知に努める。

**質問** 制度利用時は、かかりつけ医に連絡し医師の指示を確認後、消防本部へ救急車要請の手順で2回の電話が必要とのこと。途中で失神の恐れもあるので、妊婦だけでなく、かかりつけ医からも救急要請の連絡を行うなど、万全を期す改善をお願いします。

**こども課長** 強い痛みや大量出血、異常分娩など緊急時は119通報を優先するよう説明している。



有機農業の推進について



松窪 ミツエ  
議員



**質問** 施政方針の農業政策について、大きな視点での思いを伺う。  
**市長** 農業はえびの市の一番の基幹産業。独自の時代に合った政策を打ち、下支えをしていきたい。  
**質問** 国と県の示す有機農業に対して本市の見解はどうか。

**畜産農政課長** 国の示す有機農法推進法は、環境への負荷を軽減した農業の生産方法を定義している。環境と調和した農林水産業の実現を目指す基本的計画として、県と市町村協働により計画策定を行うこととなっているので、本市としては現在、県と調整中である。  
**質問** 有機営農者の実態数は。  
**畜産農政課長** 担当課での把握件数は7件で48ha、うち有機JAS認証者は5件で25haである。

**質問** 有機農業に関する意識調査等の考えはあるか。  
**畜産農政課長** まずは、有機農業に関心のある方に対し、国の制度情報の周知を図りたいと考えている。

**質問** 本市の今後の有機農業政策推進に対する取り組みは。  
**市長** 県と協働による基本計画の策定後は、この計画が早急に形になるよう推進していきたい。



有機野菜畑

観光施設の整備を急げ!!



田口 正英  
議員



**質問** 「えびの市観光推進計画」を具体的かつ実効的な計画とするためにはえびの市らしい魅力や、稼ぐ観光産業にするため受け入れ体制や整備など含め、市内外にどのように発信していくのか。  
**市長** SNSの活用や多様な情報発信や受け取りかたがあるので、えびの市の魅力である観光資源や人もいるので、それらを有効活用していく。

**質問** 白鳥温泉下湯のケビン利用者数は。  
**観光商工課長** 令和4年度4月から12月まで600組、1,575人である。  
**質問** ケビン10棟ある内の4棟については劣化が進んでいるが今後の見通しは。

**市長** 計画の中には記載はしていないが、撤去も含め今後検討していく。  
**質問** 給水管の凍結防止対策は。  
**市長** 上湯・下湯ともかなり老朽化が進んでいる。改修後の情報は後年度の管理者へつないでいく。

**質問** ケビンのトイレ改修の考えはないか。  
**市長** ウォシュレットへの見直しについては調査していく。



白鳥温泉下湯のケビン棟



# 一 般 質 問

## Well-beingなまがひへ



遠目塚 文美  
議員



**質問** ヒアリングフレイルについて、検討状況は。

**介護保険課長** 他自治体での取り組み等も把握しているが、えびの市ではまだ実施に至っていない。聴こえに関する理解を深める大切さは認識しているので、今後先ずは市民への周知に努める。

**質問** 持続可能な子育て環境のために、既存の保育施設への行政による伴走型支援が必要なのではないか。今後、これまで課題となっていたいなかったことや想定外の事情等も懸念される。現場に一番近い方達から、どのような形で意見を収集出来るか検討する。

**質問** 体育施設の老朽化した備品等の更新計画はあるのか。

**社会教育課長** 備品の維持管理



地域の大切な交通手段《吉都線》

を適切に行いながら利用状況を把握し、安全点検にも十分努めながら今後計画的に更新していきたい。  
**質問** 吉都線の定期券購入に係る時間等の改善要望があるが。  
**市長** JR九州利用促進協議会等を通じて、JR九州や鹿児島支社に駅窓口営業の維持継続や高校等での出張販売を要望している。JR九州からは、適正に対応していきたいとのことだった。

## 議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のため、検温・手指の消毒・マスク着用にご協力お願いいたします。



# ◎ 各常任委員会閉会中審査報告 ◎

## 産業厚生常任委員会

## 管内調査報告

■日時・場所

令和5年1月17日（火）  
第4委員会室  
毘沙門の滝

■目的

市の観光地として毘沙門の滝の復興を求める陳情書について現地調査

■調査内容

【陳情者の聞き取り調査】

陳情代表者からえびの市唯一の滝の名所であり多くの市内外から観光地として復興を願う要望があり、新たな観光地として生まれ変わるために遊歩道の整備等を強く要望すると陳情の主旨説明を受けた。



陳情者からの説明

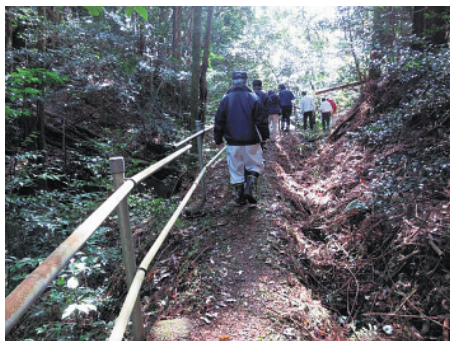
【毘沙門の滝現地調査】

令和3年度に豪雨災害にて展望所から滝へ下る階段等を地元の要望にて撤去した経緯がある。現在は、毘沙門の滝全体が立入禁止となっているため、今回は特別に、担当課である観光商工課と建設課の同行にて、安全面を考慮しながら現地調査を行った。

滝が見られる展望所からは倒木、流木が多く見られ滝の全容は見えずらい状況であった。また、展望所までの階段は経年劣化や台風被害等で危険であったため、地元からの要望にて令和3年8月に行政が撤去している。駐車場から滝の上側の展望所までの遊歩道は整備されておらず、地元で手すりは準備しているが、経年劣化や側面の崩れがあり危険な状況であった。遊歩道は、ロープで仕切りはあったが、鉄柵等もないため、万が一不測の事態が発生した場合は、滝に転落する可能性があるため、立入禁止の対策を強化する必要があると感じた。

産業厚生常任委員会

委員 西原 義文



遊歩道



毘沙門の滝上流



毘沙門の滝

令和5年3月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	報第1告1号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	※質疑後、終結											
	議第1案1号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第2案2号	公平委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第3案3号	農業委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第4案4号	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第5案5号	第二次えびの市環境基本計画の見直しについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第6案6号	えびの市地域新エネルギービジョンの見直しについて	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第7案7号	えびの市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第8案8号	えびの市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第9案9号	えびの市原油・原材料高対策特別貸付利子補給基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第10案10号	えびの市みやざき再生支援特別貸付利子補給基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第11案11号	えびの市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第12案12号	えびの市子ども・子育て会議条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第13案13号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第14案14号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第15案15号	えびの市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第16案16号	えびの市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第17案17号	えびの市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第18案18号	えびの市営住宅条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第19案19号	えびの市定住促進住宅条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第20案20号	市道の路線認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 予算審査 特別委員会	議第21案21号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第22案22号	令和4年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第23案23号	令和4年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第24案24号	令和4年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第25案25号	令和4年度えびの市水道事業会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第26案26号	令和4年度えびの市病院事業会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 予算審査 特別委員会	議第27案27号	令和5年度えびの市一般会計予算について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第28案28号	令和5年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第29案29号	令和5年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第30案30号	令和5年度えびの市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 令和5年3月定例会 議案等審議結果表

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
産業厚生	議案第31号	令和5年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第32号	令和5年度えびの市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第33号	令和5年度えびの市病院事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 2. 請願・陳情

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
産業厚生	陳情第4号	市の観光地として毘沙門の滝の復興を求める陳情書	継続審査												

### 3. 委員会提出議案

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	委員会提出議案第3号	えびの市議会個人情報保護条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

／：議長は採択に加わらない    ○：賛成    ●：反対    -：棄権    欠：欠席

### ◆お知らせ◆

令和5年3月17日に森賢治議員より議員辞職願が提出され、令和5年3月20日付で議長において議員辞職が許可されました。このことにより、現議員数が12名から11名となりました。

また、これを受け議会広報特別委員会の委員構成が

委員長	小宮 寧子
副委員長	川野 亮
委員	遠目塚文美 西原 義文

となりました。また、議会運営委員会及び総務教育常任委員会の委員がそれぞれ6名から5名となりました。



### 編集後記

穏やかな日差しに小鳥のさえずりと心地よい春風が感じられる季節となりました。春は「光」「音」「気温」の順にやってくるそうです。

長く続いていたマスク生活ですが、感染状況も落ち着きをみせ、今年の春は、マスクを外し笑顔で会話ができるようになり、世の中が少しずつ明るい方へ歩き出す中、新年度がスタートしました。

広報委員会では、市民の皆さまの「見たい・読みたい・知りたい」に応えられるよう、新年度も調査や研究を重ねながら、議会だよりの制作に取り組んでまいります。皆さまのご感想やご意見などもぜひお寄せください。

議会広報特別委員会

委員長 小宮 寧子

